

平成29年度事業別評価調書（チェックリスト）

整理番号	104	事業名	交付金事業（河川）		補助 単独	地区名 (事業箇所名)	一級河川	でんびがわ 伝樋川	関係 市町村名	伊達市	担当部（局） 課名	土木部 河川整備課																																			
評価の対象となる理由	第1項第4号 評価実施から5年経過で継続中					前回（平成24年度）評価時の対応方針	委員会からの提言：事業継続 付帯意見：無し		県の対応方針：事業継続																																						
事業根拠法・要綱等の名称	河川法第9条第2項																																														
事業の概要	[事業目的及び全体計画] (1) 事業目的 昭和61年8月洪水をはじめ、浸水被害が発生しているため、河積の拡大を行い、沿川の人家等への浸水被害の防止を図る。 (2) 全体計画 延長：L=3,400m 工種：掘削工、築堤工、護岸工等 []は事業採択時 < >は平成24年度再評価時																																														
	事業の採択年度	H5	完成目標年度※	[H30] [H35] H40	用地着手年度	H5	工事着手年度	H12																																							
	事業費（百万円）	全体事業費 (うち用地費)	これまでの投資事業費合計	左の財源内訳又は負担割合	これまでの年度別投資実績(29年度は見込額である。)																																										
		5,490 (2,342)	2,941 (1,462)	国 1/2 県 1/2 市町村 その他	～26年度	27年度	28年度	29年度																																							
進捗率	事業費ベース	53.6%	用地費ベース	62.4%	河川改修延長km(%)		23.5%																																								
事業の進捗状況	[整備の状況] 伝樋川は、平成18年度までに水門整備、道路改築等の関連事業との連携を図りながら、広瀬川合流点から国道349号伝樋橋付近までの800mについて改修が完了し、上流2,600mが未整備となっている。現在は、上流の改修に向けた用地取得、仮橋工及び河道掘削等による整備を進めている。 [事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し] 大規模な工場等の事業用地の取得に時間を要したため、完了目標年度を延ばしているが、今後計画どおりの用地取得が見込まれることから、さらに重点投資を図ることにより、平成40年度の完成を目指す。 [関連事業の進捗状況] ①特定構造物改築事業（国土交通省） 水門 1基 H13完 ②国道349号梁川バイパス（福島県） 橋梁 1橋 H15完 ③市道東土橋石井戸線社会資本整備総合交付金事業（伊達市） 橋梁 1橋 H24完																																														
	評価 <input checked="" type="radio"/> A、 <input type="radio"/> B、 <input type="radio"/> C																																														
	事業に関する社会経済情勢（特記すべき事項） (1) 現在の状況 沿川には人家が密集しており、台風や集中豪雨等による洪水から市街地部の甚大な浸水被害を防止するため河川改修の必要性は高い。 下流部の河川改修が一部概成しているが、未だ上流部の流下能力が全体的に不足しており、市街地区間の浸水被害も発生していることから、継続した事業の取り組みが望まれている。 (2) 変化の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 (3) 変化の内容 (4) 地域の協力的体制等 事業の推進に対して協力的であり、早期完成を望んでいる。 [事業に関連する評価指標等] (1) 主要な評価指標の変化																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（算式）</th> <th>事業採択時(H5)</th> <th>評価実施時(H29)</th> <th>増減(+/-)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川改修延長(3,400m)</td> <td>0m</td> <td>800m</td> <td>+800m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												評価指標（算式）	事業採択時(H5)	評価実施時(H29)	増減(+/-)	備考	河川改修延長(3,400m)	0m	800m	+800m																											
評価指標（算式）	事業採択時(H5)	評価実施時(H29)	増減(+/-)	備考																																											
河川改修延長(3,400m)	0m	800m	+800m																																												
過去の災害発生実績																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>原因</th> <th>浸水戸数(戸)</th> <th>浸水面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和61年 8月</td> <td>台風10号</td> <td>353</td> <td>455.0</td> </tr> <tr> <td>昭和63年 8月</td> <td>台風13号</td> <td>48</td> <td>285.0</td> </tr> <tr> <td>平成元年 8月</td> <td>台風13号</td> <td>32</td> <td>280.0</td> </tr> <tr> <td>平成10年 8月</td> <td>豪雨</td> <td>29</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>平成14年 7月</td> <td>台風6号</td> <td>10</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>平成16年10月</td> <td>豪雨</td> <td>2</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>平成18年10月</td> <td>豪雨</td> <td>-</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>平成23年 9月</td> <td>台風15号</td> <td>-</td> <td>23.0</td> </tr> </tbody> </table>												年月	原因	浸水戸数(戸)	浸水面積(ha)	昭和61年 8月	台風10号	353	455.0	昭和63年 8月	台風13号	48	285.0	平成元年 8月	台風13号	32	280.0	平成10年 8月	豪雨	29	95.0	平成14年 7月	台風6号	10	42.0	平成16年10月	豪雨	2	0.3	平成18年10月	豪雨	-	0.3	平成23年 9月	台風15号	-	23.0
年月	原因	浸水戸数(戸)	浸水面積(ha)																																												
昭和61年 8月	台風10号	353	455.0																																												
昭和63年 8月	台風13号	48	285.0																																												
平成元年 8月	台風13号	32	280.0																																												
平成10年 8月	豪雨	29	95.0																																												
平成14年 7月	台風6号	10	42.0																																												
平成16年10月	豪雨	2	0.3																																												
平成18年10月	豪雨	-	0.3																																												
平成23年 9月	台風15号	-	23.0																																												
(2) その他特記すべき事項 特になし [環境への影響等] 希少野生動植物の情報に基づく対応 <input checked="" type="radio"/> 実施 <input type="radio"/> 未実施 () (1) 環境への影響内容とその対策 事業区域周辺に希少種が存在していないことを確認している。なお、河川水位が低い時期でも魚が生息できるように、みお筋を確保するなど、生態系に配慮する。 (2) その他特記すべき事項 特になし																																															
評価 <input checked="" type="radio"/> A、 <input type="radio"/> B、 <input type="radio"/> C																																															

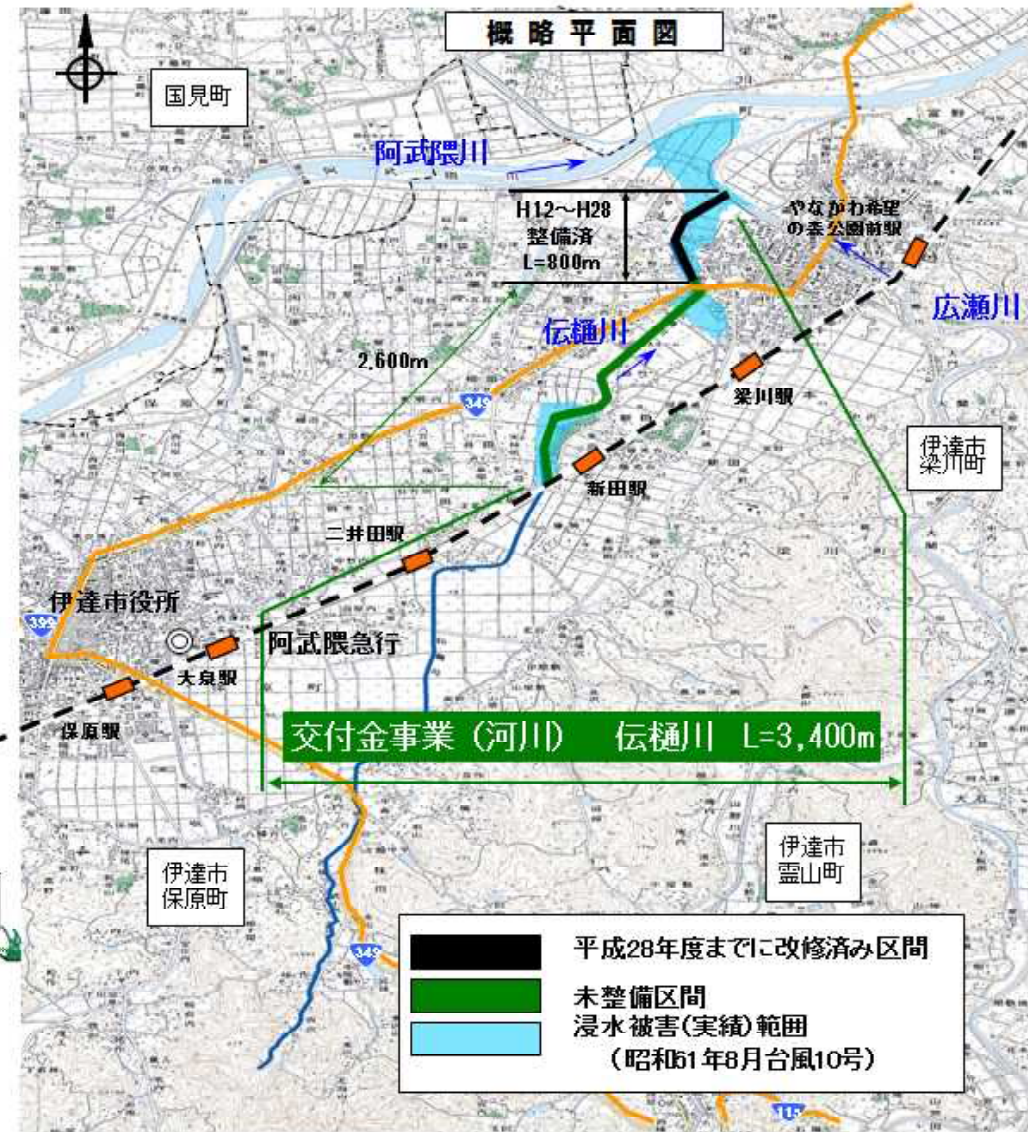
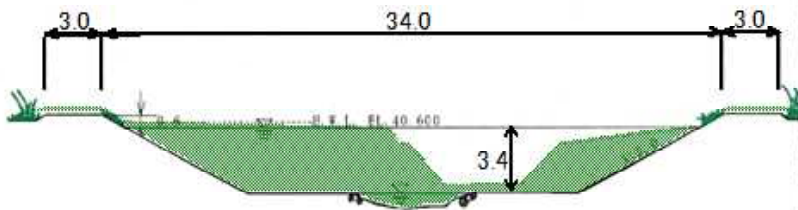
※完成目標年度は、標準的な工程を想定して設定しているが、毎年度の予算は担保されたものではなく、用地取得状況や施工上の条件変化等、不確定な要素があるため、確定したものではない。

[位置図] 及び [事業概要図]

位置図



標準断面図



費用対効果分析について（説明資料）（B/C算出根拠資料①）

（1）事業の概要

河川名	事業名	延長	関係市町村名
一級河川 伝樋川	交付金事業（河川）	L=3,400m	伊達市

（2）費用対効果の算出について

① 費用

	事業費	維持管理費※	合計
基準年	平成28年		
単純合計	5,314百万円	1,656百万円	6,970百万円
基準年における 現在価値（C）	6,168百万円	713百万円	6,881百万円

※河川改修事業の一般的な耐用年数は50年としているため、河川改修施設の点検や簡単な修繕費等を維持管理費として事業完了から50年後まで計上する。

※維持管理費は、一般的な河川における状況から、事業費の0.5%とする。

② 便益

	氾濫防止便益*1	残存価値*2	合計
基準年	平成28年		
供用年※	平成40年		
施設完了後の 評価期間	平成41年～平成90年		
評価対象期間 終了時点	107,337百万円	2,766百万円	110,103百万円
基準年における 現在価値（B）	42,957百万円	132百万円	43,089百万円

*1氾濫防止便益は、事業の途中段階においても発生し、さらに事業完成後50年まで発生するものとする。

*2護岸等の構造物は評価対象期間終了時点の残存価値を10%とする。構造物以外は、減価しないものとする。

③ 結果

費用便益比（B/C）	6.26
------------	------

※供用年は、標準的な工程を想定して設定しているが、毎年度の予算は担保されたものではなく、用地取得状況や施工上の条件変化等、不確定な要素があるため、確定したものではない。

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。